

ナウマン通信



2022年
3月11日発行
第35号

大阪市立我孫子南中学校

旅立ちの時



本日の卒業式で卒業生に贈った式辞を以下に紹介させていただきます。

式 辞

未だ誰もが経験したことのないコロナ禍による日常の変化。中学校生活の大半をその厳しい環境の中で過ごし、たくさんの苦労や不安と戦ってきた第二十五期生、百十二名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。教職員を代表して心からお祝いを述べさせていただきます。

今、一人ひとりに卒業証書を授与しました。皆さんとは二年の付き合いでしたが、感慨深い気持ちでいっぱいです。思い起こせば皆さんはいろんな場面で私たちに感動を与えてくれました。八、六平和人権学習での見事な発表。体育大会での気合の入った南中ソーラン。一日目の失敗を一人一人の自律心で乗り越え、成功させた修学旅行。文化発表会での心のこもった作品の数々。そして見るものをくぎ付けにした舞台発表。限られた条件の中で一つ一つに確かな足跡を残した皆さんの三年間が表れていました。そんな中で私が一番印象に残っているのは皆さんの話を聞く姿勢です。どんな場面でも常に話している人に正対し、姿勢よく話を聞く力、それを皆さんは終始一貫、貫いていました。そのおかげで全校集会などではどれだけ話しやすかったかしれません。そんなことを思い返していると、もっともっと皆さんとあひ南での生活を過ごしたかったなと思います。しかし、新たな道のりに決意と覚悟をもって臨もうとしている皆さんをつなぎとめることはできません。残念ですがお別れの時です。そして旅立ちの時です。

そんな巣立ちゆく皆さんに最後に二つだけお話ししたいと思います。一つは「人との出会い」を大切にしてください。人は出会いと別れを繰り返すといいますが、限られた時間の中で出会える人の数は出会えない人の数よりずっと少ないのです。だから今周りにいる仲間や先生方との奇跡のような出会いを大切にしてください。そしてこれから出会う人たちを優しい目で見てください。そうすればきっとあなたたちを優しい目で見てくれる人が現れます。どうか今以上に人とのつながりを大切にしてください。素敵な大人になってください。そうすればみなさんの周りに素敵な人が集まってくるはずです。

二つ目は「人生山あり谷あり」ということです。

これからの人生で良かったと思うこともあれば、あの時もっとああしておけばよかったと悔いを残すこともあると思います。だからこそ皆さんには面白い人生を歩んでほしいと思います。こんな詩があります。

『他人に左右されないで信じる道は自分で選ぶ。たとえその道が険しくても自分で選んだ道ならば自信をもって進むことができる。真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いつけが出る。』

本気です。から「悔しい」を知ることができる。

本気です。から「楽しい」を知ることができる。

本気です。から人生が面白くなる。』

このように皆さんには何事にも本気で臨める人に成長してほしいと願っています。二十五期の皆さんならきっと大丈夫です。信じています。

では、卒業生の皆さん、我孫子南中学校はこれからも「止まり木のような学校」としてみなさんを見守っています。何かあったらいつでも力を蓄えに来てください。在校生も皆さん同様しっかりとあしあとを残してくれると信じています。安心してください。最後に皆さんが、これから始まる新しい世界を力強く歩いていかれんことを心から祈念し、私のお祝いの言葉とさせていただきます。